

# 衆議院議員 小林鷹之の国政報告

たかゆき  
小林鷹之からの  
手紙 vol.26

討議資料  
自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行  
(千葉市花見川区・習志野市・八千代市)



【Facebook】  
www.facebook.com/hawk.kobayashi  
【twitter】  
twitter.com/kobahawk  
【HP】  
kobayashi-takayuki.jp



## 第189回国会 (常会)

昨年未だ二期目の国会に送って頂いて以来、皆様の負託に応えるべく、政策本位の活動を心掛けてまいりました。本号はこの八か月のダイジェスト版です。写真を中心に活動をご覧いただきたく存じます。なお、地元についての提案は23号「街の未来図」をHP上でもご覧頂けます。

**予算委員会**  
本国会では、新たに予算委員会の委員を拝命しました。国会の花形委員



- ① 地元ソフトボール大会
- ② 外務委員会で岸田外相と議論
- ③ 担当法案を党幹部会で説明
- ④ 予算委員会分科会では議長役
- ⑤ 犯罪被害者支援に関する提言を事務局長として、有村特命担当大臣・山谷国家公安委員長・上川法務大臣に提出



員会とも言われ、自民党の場合は二期生から所属が認められます。総理はじめ多数の閣僚が出席し、野党の党首クラスも質疑に立ちます。指導者達が国家の将来をどう考えているのか、また、閣僚達が鋭い質問に對してどう対応するのか、若手議員にとっては大変学びの多い場です。

予算と言えは財政。この夏に政府が財政健全化に向けて策定した中期計画では、経済成長見通しを含

### 交遊抄

東大ポト 自負がある。部時代、埼玉 浦に打ち込み過ぎ。浦戸市の合 宿所で過ごし、大蔵省、彼は民間企業へ。たポト濱け 数年後、別人のように太の4年間。同室で寝食を った彼と再会。外食チエ共にしたのが、1学年後 ンの新商品開発に携わ輩の湯浅智之君だ。開成り、試作品を死に物狂い中高の後輩で、現在は企 で食べ比べたこと。業再生を手掛ける リヴァンプの副社 長だ。お互い部の 主将を務め、同じ エイト(船)に乗 った戦友だ。

### 艇上の盟友

小林 鷹之 君の言葉は励みになる。駆け出しの政治家だからこそ、彼のように現場に足を運び続けたい。「日本を忘れたら元気がない」。立場は異なれど、その思いを共有する湯浅君とは、学生時代よりも大きなポトを今も一緒に漕いでいる気がする。(こばやし・たかゆき)



①6 週末は街頭演説。平日朝は駅頭活動を継続①7 国会見学に来てくれた地元小学生に「国会議員の仕事」について説明  
①8 地元農家と方と①9 千葉県が誇る刀匠松田次泰氏の勉強会にて②0 習志野市の「きらっとサンパレード」に今年も参加  
②1 国会見学にお越し頂いた地元の支援者の皆様②2 週末は各地区で国政報告

### 第3回 小林鷹之事務所では、定期的に「小林鷹之後援会「飛鷹会」朝食勉強会

若き経営者へ  
～キッコーマンのグローバル経営から～

講師：茂木 友三郎 氏  
日時：平成27年9月10日(木)  
受付・朝食：午前7時30分～  
講演：午前8時～9時  
場所：ホテルニューオータニ ザ・メイン 麗の間  
東京都千代田区 紀尾井町4-1

参加ご希望の方は  
下記の国会事務所まで  
ご連絡下さい

第1回 加賀見 俊夫氏  
株式会社オリエンタルランド 代表取締役会長(兼)CEO  
第2回 武藤 敏郎氏  
株式会社大和総研 理事長  
元大蔵・財務事務次官/日本銀行副総裁

開催済勉強会

### 見学 国会見学

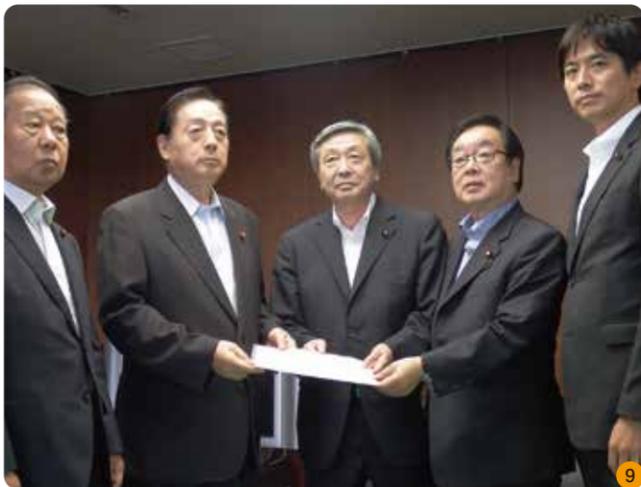
小林鷹之事務所では、国会見学の受付やルート相談も承ります。見学をご希望される方は、団体名、代表者名、参加人数(男女別、大人子供別)、参加希望日時、ご連絡先を下記の国会事務所までご連絡下さい。

### ミニ集会 小林鷹之と語る会

小林鷹之事務所では、小林本人による国政報告と皆様からのご意見を伺うためにミニ集会の開催をお願いしております。5人以上であれば、どこへでもまいりますので、下記の八千代事務所までご連絡ください。

国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室  
TEL 03-3508-7617 FAX 03-3508-3997  
八千代事務所 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-3-5 アットホームセンター第2ビル202号室  
TEL 047-409-5842 FAX 047-409-5843





6 予算委員として平成27年度予算審議 7 マスコミのインタビューも多数 8 BSフジ「プライムニュース」に生出演。日中関係について討論  
9 成田国際空港推進議連として、太田国交大臣に決議書を提出 10 地元小学生を対象に勉強会を開催。テーマは「ルールって何？」  
11 同僚議員との勉強会を開催。写真は出井伸之 元ソニー株式会社CEO. 12 各種会合で積極的に政策提言 13 外交強化は日本の生命線  
14 大賀ハスは地元の宝 15 国際ドローン展視察(幕張メッセ)

め、楽観的な部分が目立ちます。「歳出削減ありき」の硬直的な思考に陥るのは良くありませんが、将来世代に対する責任を果たすためには、医療分野をはじめ、膨張する社会保障費をどうコントロールしていくのか、各論について、しがらみにとらわれることなく、掘り下げた議論を行っていくのが我々世代の責任であると考えています。

外務委員会

外務委員会では、中国人民元の国際化の動きについて岸田外務大臣に質疑を行いました。世界経済の中で人民元が急速に普及しつつあります。国際決済に人民元建てが占める割合は昨年12月に2.2%へと急増。決済通貨ランキング4位の日本円(2.7%)に迫る勢いですが、我が国の対応は定まっておられません。加えて、中国政府が人民元国際化の先に何を考えているのか。中長期的に米ドルのような基軸通貨にしていくことまでも見据えているとすれば、将来のアジアにおける日米中の力学にも大きな影響を与える可能性があります。国際金融の課題は、従来から財務省が担当していますが、経済のみならず、外交・安全保障の視点からも捉えるべきであるというのが私の持論です。縦割りの弊害を排し、オールジャパンとしての対応を政府に強く求めました。

平和安全法制

本国会の最大の焦点は、「平和安全法制」です。この法案は、一部で喧伝されるような「戦争法案」ではありません。我が国を取り巻く環境が急速かつ著しく変化し、不測の事態が生じるリスクが高まる中で、むしろ「戦争を未然に抑止する法案」です。戦後七十年間享受してきた平和を、この先も享受し続けたい。これは党派を問わず、誰もが願うこと。「戦争に巻き込まれても仕方ないよね」といったような中途半端な気持ちで国会審議に参加している議員はいないと思います。我々国会議員は、与野党問わず、国民の皆様が念願する恒久的な平和を確保する手段として、現実

的に何が最も妥当な方策なのかを真摯に議論しなければなりません。

中国とは中長期的に信頼関係を構築していくことが双方の国益に合うことは間違いありません。しかし、足元では①軍事費・力の急増、②核廃絶の潮流に反し、世界で唯一、核弾頭の数を増加、③東・南シナ海での力を背景とした一方的な現状変更の動きなど、「事実」を踏まえた上で、平和を実現するための備えをしておく必要があります。

地元の皆様からは「国会審議がわかりにくい」との声を頂きます。週末を中心に各地区で開催している国政報告会にご参加頂く方々からは、「なるほど、ようやく分かったよ」との声を多数頂きますが、国民の皆様のご理解を頂くための努力が与党として更に必要だと感じています。

批判する野党を批判しても意味はありません。まずは与党としてやるべきことがある。異なる意見にも耳を傾けなければなりません。憲法の基本原則を尊重・遵守することは当然のことです。権力を持つ与党がマスコミ等からチエックされることも、報道の自由を尊重することも当然のこと。与党であるからこそ、謙虚に、丁寧な国会運営を心掛けていかねばなりません。

議員立法

最後に。現在、国会が政局の様相を呈しているからこそ、政治家は政策本位の正道を行くべきです。私を中心となって進めております議員立法(「国外犯罪被害弔慰金等の支給に関する法律案」は民主・維新・共産の野党各党を含め、全会派一致で今国会で成立させるべく最終段階の調整に入っております。

今後とも地道に活動を続けてまいりますので、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十七年八月吉日

衆議院議員 小林鷹之